

「楽しみながらの私らしい農業」

高橋 茄奈 (27 歳) Uターン
(松山市)



1 就農の動機・理由

前職の自衛官の時に地元を離れ、厳しい訓練を行って疲れきっていた。

そのような中、祖父母の柑橘園地で、収穫作業を手伝っていた時の、自然の中で過ごす時間と穏やかな気持ちを思い出し、農業の道へ進むことを決めた。

2 農業経営の概要

○経営の展開

項目	就農時の経営 (令和4年)	現在の経営 (令和6年)	将来の経営 (令和9年)
労働力	女1人(本人)	女1人(本人)	女1人(本人)
経営耕地	樹園地 69a	樹園地 78a	樹園地 87a
経営内容	露地せとか 20a 無加温せとか 6a 愛果28号(施設) 15a はれひめ 6a 愛果48号 22a	露地せとか 20a 無加温せとか 6a 愛果28号(施設) 24a はれひめ 6a 愛果48号 22a	露地せとか 20a 無加温せとか 15a 愛果28号(施設) 24a はれひめ 6a 愛果48号 22a

○農業用施設

ビニールハウス 2棟
簡易ハウス 1棟

○主要農業機械

動力噴霧器 1台
ラジコン動噴 1台
軽トラック 1台

選果機 1台
ウッドチップパー 1台
ポンプ 1台

3 あしあと

(1) 就農までの主な経歴

出身地 愛媛県松山市

職歴 自衛官

就農研修歴

JA えひめ中央新規就農研修センター
(R2.4.1～R4.3.31)

就農年月 令和4年4月

(2) 就農時の思い

初めは、この約70aの広い農地面積をやっているのか不安だったが、今は地域の人たちに助けられながら、楽しく農業ができています。

また、父からの「茄奈が利用する園地は、農作業しやすい園地環境になるよう手助けする」との言葉が就農の後押しをしてくれた。

4 就農時の取り組み

(1) 技術の習得

就農前は、就農準備資金を活用し、JA新規就農研修センターでの研修を中心に勉強した。

就農後は、松山市指導センター職員、JA営農指導員や県普及指導員などたくさんの人からアドバイスをもらっている。

また、「師匠」と仰ぐ研修の同期か

らも、栽培に関してLINE等で情報交換したり、園地を見てもらいアドバイスをもらっている。

(2) 資金の準備

自己資金に加え、松山市に相談し、農業次世代人材投資資金（経営開始型）を活用するとともに、ハウス建設の際は、未来型果樹産地強化支援事業及び無利子の就農支援資金を活用した。

(3) 農地・住宅の確保

農地は、父が5年前に祖父から引き継いだ一部を、特定農作業受託の形で確保した。

(4) その他苦労したこと

自分の判断で年間を通しての作業を実施することがなかったため、就農初期は、時期ごとの農作業のタイミングが分からず、作業が間に合わない時があり、大変だった。

特に、夏秋期において、果実の大きさによるかん水のタイミングや量が分からず苦労した。

5 農業経営の特徴

基本的に、農作業をいかに効率的に実施するかを重視している。

特に作業しやすい樹の間隔に気をつけており、混んできたら縮伐や間伐を行っている。

また、作業中は音楽を流して、なるべく楽しくするようにしている。

6 これからの夢

たくさんの人に認められるような農家になること。そのためには、今の栽培面積で少しでも収量を確保し果実品質を上げ、売上げを増やしたい。

また、余裕ができれば自分だけの直売

所を作ってみたい。

7 成功したキーポイント

前年の栽培上の失敗を分析し、次の年に工夫をしながら収量アップができていること。

そのためには、いろいろな人のアドバイスをしっかり聞いて活かしていくことが必要だと思う。

8 就農を目指す方へのアドバイス

就農することは、不安なことが多いかもしれないけど、地域の方たちから色々なアドバイスなどをもらえるので、たくさんの方のつながりができます。

○ 指導機関からのひとこと

高橋さんは、お父さんとは別経営で1人で70aの面積を栽培しています。農作業は、元自衛官らしくテキパキとこなしながら、女性ならではの細かい作業も得意としています。

今後は、技術と自信をもって農業経営を行える女性リーダーとなるよう期待します。

執筆機関

中予地方局農業振興課地域農業育成室
電話番号 089-909-8762



せとかのせん定作業